

# 学びびや

タイムスリップ

戦前までは、学校教育の中で「修身」という授業が行われていました。

歴史上の人物の生き方を学ぶことなどを通して、道徳を養うことを目的としたものです。

明治の初めから、教育では主に欧米に倣った内容を取り入れていました

軽視されているという批判が大きくなっていきま

した。

そうした流れの中、79

が、今回はそうした中から、浮世絵が用いられた

たフランス人のピエールが、自分がどんなに貧しくてもその金に手を付け

よって示された教育方針

である「教学大旨」では、

写真は82年から84年に

実学とともに道徳教育が

根本として挙げられまし

て、歴史上の人物にまつ

うになり、82(同15)年

わる逸話の一場面を紹

童が喜び、興味をもつ錦

## 児童の学びやすさ工夫

前後には多くの修身教科

書が編さんされました。

絵を用いて倦怠の心を起

この時期の教科書は文

部省による教科書検定制

をとったもので、教科書

度ができる前のもので、

としては珍しいかたちで

世絵師に絵が依頼されま

内容も実に多様です。京

都市学校歴史博物館で

また、日本、中国、西

月岡芳年「錦絵修身談」エ

洋の逸話が掲載されてお

せる工夫が絵画によって

ルの信)(1883年)

容でした。写真はピエー

ルの信と題された逸話

元日影幼稚園蔵

学芸員 森光彦



錦絵修身談